

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 10 日

事務事業名		ごみ収集委託事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	041002000218
		政策体系上の位置付け				単独/補助		所属課	030301
政策体系	総合計画の施策名	0410	廃棄物の抑制と適切な処理			主要事業	対象外	グループ	環境対策課
	政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり			市長マニフェスト	対象外		
	施策名	10	廃棄物の抑制と適切な処理			未来PJ事業	対象外	環境公害対策G	
	基本事業名	02	分別収集と適正な処理			合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	02	01	01	00	清掃総務事業		
法令根拠		廃棄物の処理及び清掃に関する				単年度繰返し (年度~)			
【Do】		1. 事務事業の現状把握 (その1)				← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 市内の家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみを各地区にあるごみ集積所から収集して筑西広域市町村圏事務組合環境センター(ごみ処理施設)へ搬入する。 【担当者が行う業務の手順】 ・収集運搬業者との委託契約 ・ごみの分別収集等のお知らせ(ごみカレンダー)を作成して全戸配布 ・排出量の記録及び分析 ・市民へ分別収集及び減量化や指定ごみ袋使用についての協力依頼(広報誌及び文書配布等) 【事業費の内訳】
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・可燃ごみ、不燃ごみの収集運搬業者との委託契約 ・排出量の記録及び分析 ・市民へ分別収集及び減量化等についての啓発活動(広報紙等) ・ごみの分別収集等のお知らせ(ごみカレンダー)を作成して全戸配布 ・ごみ集積所に出されている不適正廃棄物の回収 ・ごみ集積所への啓発看板設置及び、区長・班長への助言・指導

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ごみ収集業者との連絡調整。協議 住民トラブルの対応など	ごみ集積所数	ヶ所	1,157.00	1,002.00	1,010.00	1,010.00	1,010.00
	可燃ごみ、不燃ごみ委託件数	件	5.00	5.00	4.00	4.00	4.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市民、家庭ごみ	人口	人	42,632.00	42,000.00	41,616.00	41,232.00	40,848.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
ごみの分別及び減量化	ごみの排出量(可燃・不燃)	t	9,365.00	9,300.00	9,250.00	9,200.00	9,150.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	89,759	89,705	89,705	89,705
	事業費計(A)	千円	89,759	89,705	89,705	89,705	89,705
人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
	述べ業務時間	時間	137.00	120.00	120.00	120.00	
	人件費計(B)	千円	397	348	348	355	
トータルコスト(A)+(B)		千円	90,156	90,053	90,053	90,060	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	13 委託料	89,705		13 委託料	89,705	
	合計	89,705		合計	89,705	

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	ごみ収集委託事業	事務事業No.	41002000218	所属課	環境対策課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 以前は各町村で直営にて収集を行っていたが、経費の削減が図れるため委託としている。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ごみ出しのマナーが徹底されていない。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う 指定袋使用の徹底。 家庭ごみと事業系ごみの分別が必要になる。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 環境衛生及び資源循環型社会の形成に貢献している。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市内から排出される一般廃棄物の処理は、市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 可燃ごみ・不燃ごみの排出量を減らすために、ごみの分別と周知徹底を行う必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法により廃止できず、市民生活に支障が生じる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年々、委託費を削減してきたが、削減しすぎると業務内容が低下すると思われる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民のごみを収集しているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成28年度から市内統一の収集方法となり不燃ごみの排出量を削減できた。今後は更なるマナーアップについて周知する必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---